

第1学年 生活科学習指導案

1 単元名 いきものとなかよし

2 単元設定の理由

(1) 単元に関する児童・地域の実態

春みつけの際に校庭でダンゴムシをたくさん見つけた。虫が苦手な児童でも、友達の手ひらに乗ったダンゴムシには興味津々になり、覗き込むように観察していた。また、6月には休み時間に、2年生のお姉さんがダンゴムシのたまごが孵りそうだと教えてくれて、赤ちゃんの誕生の瞬間を目にした児童もいる。学校では生き物と触れ合う機会は、その程度であった。

本単元に入る前にアンケートをとると、虫が好きで触ることができると答えた児童はちょうど半数であった。セミの抜け殻も触ることができない児童も少なくなかった。博士と言われるほど虫に詳しい男子児童もいるが、その他の児童は知識もあまりない。そこで、本単元で虫探しに出かけて、身の回りには様々な生き物がいることを知り、観察を続けてみたいと思う生き物を自分で選ぶことで苦手意識への壁を低くし、そこから他の生き物への興味も持たせたい。

このような実態にある児童にとって、継続的に生き物に寄り添い、知っていくことを通して、生き物と仲良くなり大切にしようとする活動は、大変意義深いと考える。

(2) 単元について

生き物への親しみの感情を高めるために、まずはこの単元を通して生き物について詳しく知る機会を十分に取りたいと考えた。そこで、常時活動の飼育の仕方を工夫し、生き物と関わる時間を少しでも多くとることにする。タブレットで写真や動画を活用したり、グループごとに毎朝の生き物の世話をしたりする時間を確保する。そして、生き物のことを友達同士で伝え合う活動を通して、生き物を見ただけで嫌だと思ふ先入観を払拭し、少しでも生き物に触れてみようかなと寄り添う心を抱かせたい。

また、生き物に対する継続的な世話や関わりを通して、生き物も自分たちと同じように命があること、成長していることに気付くとともに、生き物を大切にすることができるようにすることを目指す。

3 単元の目標

身近な生き物を探したり飼ったりする活動を通して、それらの育つ場所や、変化の様子に関心をもって働きかけ、それらは生命をもっていることに気付くとともに、生き物への親しみをもち、適切な世話をし、大切にしようとするようにする。

4 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
身近な生き物を探したり飼ったりする活動を通して、身近な生き物は生命をもっていることや成長していることに気付いている。	身近な生き物を探したり飼ったりする活動を通して、身近な生き物の育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。	身近な生き物を探したり飼ったりする活動を通して、生き物への親しみをもち、大切にしようとしている。

5 学習指導計画（7時間）

第1次 いきものをさがそう・・・・・・・・・・・・・・・・・・2時間

第2次 いきものとなかよくなるろう・・・・・・・・・・3時間（本時2／3）

第3次 いきものをしょうかいしよう・・・・・・・・・・2時間

6 単元構想（7時間）

（ア：知識・技能 イ：思考・判断・表現 ウ：主体的に学習に取り組む態度）

学習活動	児童の意識の流れ	活動の主な支援	評価規準 (評価方法)
<p>第1次 いきものをさがそう (2時間)</p> <p>・校庭などに出かけ、生き物を探したり観察したりする。 ・生き物を探したり捕まえたりする。 ・捕まえた生き物を友達と見せ合い、生き物の様子などを話し合う。</p> <p>第2次 いきものとなかよくなるろう (2時間)</p> <p>・自分が飼いたい生き物を決め、飼い方を調べる。 ・生き物を飼う。 (常時活動)</p>	<p>児童の意識の流れ</p> <p>・春にダンゴムシを見つけたよ。 ・せみの抜け殻をいっぱい拾ったよ。 ・夏休み中にカブトムシを見つけたよ。</p> <p>生き物を探そう</p> <p>苦手だけど、友達と一緒に見てみようかな。 草がたくさんある場所はどこだったかな。 触れるようになったダンゴムシをまた捕まえたいな。</p> <p>↓</p> <p>生き物を捕まえて観察しよう</p> <p>この虫は何という名前かな。 どうやって飼えばいいかな。</p> <p>〇〇さんは虫をじょうずに捕まえてすごいな。 教室に連れて帰って飼ってみたいな。</p> <p>↓</p> <p>生き物を飼ってなかよくなるろう</p> <p>新しい草をあげる とよるこぶかな。 げんきに動きまわっているね。</p> <p>かわいな。 触ってみたいな。 虫のことをすこしすきになれたよ。</p> <p>↓</p>	<p>○夏休み中に見つけた生き物や、校庭で生き物を見つけた児童の話聞く場を設け、「生き物を探したい」「見たい」など、学習活動への意欲が高まるようにする。</p> <p>○校庭の配置を簡単に示したマップで確認したり、生き物を見つけた児童の話の聞いたりして、生き物のいそうな場所を予想し、活動したい場所を見通す。</p> <p>○教科書59p「やくそく」を見て、内容を確認する。</p> <p>○虫の名前を知りたい児童には巻末「ポケットずかん」や教室にある図鑑の活用を勧める。</p> <p>○タブレットの写真や動画で記録できるようにする。 (常時活動)</p> <p>○自分の観察したい生き物を決める時には、責任をもって飼育しよう声かけをする。</p> <p>○今まで世話をしてきたことを想起させる。</p>	<p>ウ 積極的に生き物とふれあっている。 (行動)</p> <p>ア 校庭の生き物の特徴や育つ場所に気付いている。 (行動)</p> <p>イ これまでの経験から世話の仕方を想像し、世話の仕方を決めている。 (会話・行動)</p> <p>イ 餌やりや掃除などをしながら虫の様子を観察し、虫に合わせた世話をしている。 (行動)</p>

<p>第3次 いきものをしようかいしよう（3時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真を撮り、ペイントする。 ・ペイントを通して気付いたことなどを書く。 ・グループで伝え合う。 ・グループごとに発表する。 <p>（本時2 / 3）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元のまとめをし、生き物をこれからどうするか話し合い、元にいた場所に帰す。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>これまでのお世話を振り返ろう</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>喜びそうな部屋にするために教科書を見ながらつくったよ。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>新しい餌をやると食べてくれた。</p> </div> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px; width: 30%;"> <p>生き物となかよくなれてうれしいな。</p> </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>紹介する準備をしよう（本時2 / 3）</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>茶色でもいろいろな茶色がある。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>メダカはどうめいのところがある。</p> </div> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px; width: 45%;"> <p>バッタのジャンプのことを僕がまねをして伝えよう。</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>よく見たら目があつた。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>バッタの足は長くて、とげとげがあるよ。</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>クラスみんなに紹介しよう</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px; width: 45%;"> <p>同じ虫でも大きさがちがうね。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px; width: 45%;"> <p>他の虫と にているところがある。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px; width: 45%;"> <p>コオロギ苦手だったけれど、友達の発表をきいて、いいなと思ったよ。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px; width: 45%;"> <p>ほかの生き物も知ることができてよかったな。</p> </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>まとめをしよう</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○飼育を続けていて愛着がわいてくる気持ちや、苦手意識の強かった子が少しずつ慣れる感覚を受け止め次時へとつなげる。 ○タブレットの使い方など適宜、指導・支援を行う。 ○ペイントをすることによって、形や色についての気付きや、目や足などのからだのつくりについて知ることができようにする。 ○ペイント後、気付いたことを書くことができるように声掛けし、グループごとの話し合いを充実させる。 ○他のグループの発表を電子黒板に掲示し、互いの理解を深める。 ○生き物の変化や生命をもっていることに気付かせる。 ○友達が育てた虫と比べてみたり、友達の気付きによって自分たちを振り返ったりして、気付きの質を高められるようにする。 ○今までの活動を振り返り、これからも生き物を大切にしようとする意欲を高める。 	<p>ア 生き物のからだについてどんな特徴があるか、どんなものが好きなのか気付いている。</p> <p>（タブレット・発言）</p> <p>イ 飼育している生き物の特徴や好きなものについて、気付いたり考えたりしたことをグループの友達と伝え合っている。</p> <p>（タブレット・発言）</p> <p>ア 生き物が変化していることや、生命をもっていることに気付いている。</p> <p>（発言）</p> <p>イ なかよくなった生き物のことや心を寄せて世話してきたことなどを振り返り表現している。</p> <p>（発言）</p> <p>ウ 生き物の様子に応じて世話の仕方を変えることの大切さを実感し、これからも生き物を大切にしようとしている。</p> <p>（発言・行動）</p>
---	---	--	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・生き物のことがすきになったよ。 ・はじめは、触れなかったけれど、なかよくなって触れるようになったよ。うれしいな。 ・お世話は少し大変だったけれど、新しい草をあげると喜んでくれたからうれしかったよ。 ・小さくてもいっしょうけんめい生きているんだね。これからも生き物を大切にしよう。 		
--	---	--	--

7 本時の学習

(1) 目標

飼育している生き物のからだの特徴や生き物の好きなのところに気付き、友達と伝え合っている。

(2) 展開

(○:指導 □:評価)

学習活動	指導上の留意点と評価規準
<p>1 本時のめあてや活動内容を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>いきものの とくちょうや すきなものについて ともだちと つたえあおう。</p> </div>	<p>○前時までの活動を振り返り、本時の活動に見通しをもつことができるようにする。</p>
<p>2 前時にペイントした MetaMoji を起動し、飼育している生き物について、気がついたことを書く。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px dashed blue; padding: 5px; width: 45%;"> <p>コオロギはいろいろな茶色があるよ。</p> </div> <div style="border: 1px dashed blue; padding: 5px; width: 45%;"> <p>ダンゴムシにも目があるね。</p> </div> </div> <div style="border: 1px dashed blue; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>草の下によくかくれるね。 メダカのからだはとうめいのところとオレンジ色のところがあるよ。</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px dashed blue; padding: 5px; width: 45%;"> <p>ヤマトシジミには点々の模様があるね。</p> </div> <div style="border: 1px dashed blue; padding: 5px; width: 45%;"> <p>カナブンは緑色や茶色い色もあるね。</p> </div> </div>	<p>○自分の気付きや思ったことをグループ内で話すだけに終わらず、そこからグループの気付きとしてまとめられるように声かけをする。</p> <p>○観察記録として撮ってきた写真や動画なども参考にしながら考えさせる。</p> <p>□飼育している生き物のからだの特徴や生き物の好きなものに気付いている。 (ア タブレット・発言)</p>
<p>3 気付いたことや思ったことをグループで話し合い、同じ意見をまとめたり、友達の新しい気付きを自分のワークシートに書き足したりする。</p> <div style="border: 1px dashed blue; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>メダカが餌を食べているときの口をまねして、みんなにつたえよう。</p> </div> <div style="border: 1px dashed blue; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>バッタの足にはとげとげがあるのに気付かなかったから書いておこう。</p> </div>	<p>○グループでの話合いで、新たに気付いたことは自分のタブレットに書き足すように促す。</p> <p>□気付いたことを伝え合っている。 (イ タブレット・発言)</p>

4 次時への活動への見通しをもつ。	○次時は学級全体で発表し合うことを伝える。
-------------------	-----------------------

(3)

「十分満足できる」と判断できる状況	飼育している生き物の特徴や好きなものについて、気付いたり考えたりしたことをグループの友達と伝え合っている。
「おおむね満足できる」状況にするための手立て	友達の話聞いて、実物を観察し、本当にその特徴があるかどうか確かめるようにする。